

NEW 新会員情報

西鉄ケアサービス株式会社

西鉄グループである西鉄ケアサービス株式会社は、シニアマンションの運営管理受託事業をはじめ、訪問介護事業、居宅介護支援事業等の介護保険事業を通じた高齢者向けサービスを提供しており、現在福岡県下に11の施設を運営しています。お客さまのニーズに沿ったサービスを提供し、地域社会に貢献したいと考えています。



西鉄ケアサービス 施設一覧

有料老人ホーム
「サンカルナ」
サービス付き高齢者向け住宅
「カルナス」
■営業時間 / 10:00~17:00

糟屋郡志免町
介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) / 一般居室:100室
サンカルナ博多の森
■所在地 / 糟屋郡志免町別府西2丁目24番3号
■アクセス / 地下鉄「福岡空港」駅 徒歩約12分
☎0120-535-767

糟屋郡志免町
介護付有料老人ホーム(一般型特定施設) / 介護居室:78室
サンカルナ博多の森 ケアステージ
■所在地 / 糟屋郡志免町別府西2丁目23番1号
■アクセス / 地下鉄「福岡空港」駅 徒歩約12分
☎0120-535-767

福岡市東区
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:136室 介護専用居室:24室
サンカルナ香椎照葉
■所在地 / 福岡市東区香椎照葉5丁目1番15号
■アクセス / 西鉄「香椎照葉五丁目」バス停 徒歩約2分
☎0120-428-105

福岡市早良区
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:113室 介護専用居室:20室
サンカルナ西新
■所在地 / 福岡市早良区西新4丁目8-8
■アクセス / 地下鉄「西新」駅 徒歩約2分
☎0120-428-528

福岡市城南区
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:112室 介護専用居室:24室
サンカルナ福岡城南
■所在地 / 福岡市城南区茶山1丁目6番1号
■アクセス / 地下鉄「茶山」駅 徒歩約2分
☎0120-158-307

筑紫野市
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:140室 介護専用居室:22室
サンカルナ二日市
■所在地 / 筑紫野市紫2丁目4番1号
■アクセス / 西鉄「紫」駅 徒歩約1分
☎0120-242-668

小郡市
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:114室 介護専用居室:24室
サンカルナ テラス 三国が丘駅前
■所在地 / 小郡市あすみ1丁目40番
■アクセス / 西鉄「三国が丘」駅 徒歩約1分
☎0120-428-392

久留米市
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:272室 介護専用居室:34室
サンカルナ久留米
■所在地 / 久留米市津福本町198番地2
■アクセス / 西鉄「試験場前」駅 徒歩約2分
☎0120-428-102

北九州市小倉北区
住宅型有料老人ホーム / 一般居室:117室 介護専用居室:26室
サンカルナ小倉大手町
■所在地 / 北九州市小倉北区大手町12番6号
■アクセス / 西鉄「大手町西」バス停 徒歩約3分
☎0120-688-211

福岡市城南区
サービス付き高齢者向け住宅 / 一般居室:69室
カルナス別府
■所在地 / 福岡市城南区別府4丁目12番23号
■アクセス / 西鉄「曙2丁目」バス停 徒歩約2分
☎0120-428-310

北九州市小倉北区
サービス付き高齢者向け住宅 / 一般居室:80室 介護専用居室:22室
カルナス城野駅前
■所在地 / 北九州市小倉北区城野団地1番24号
■アクセス / 西鉄「三郎丸二丁目」バス停 徒歩約5分
☎0120-428-500

発行・お問い合わせ / 一般社団法人 福岡県慢性期医療協会

〒813-8588 福岡市東区青葉6丁目40番8号 原土井病院内
TEL:092-691-3886 FAX:092-691-3961
WEB:http://www.famcf.jp/about/ E-Mail:jimukyoku@famcf.jp

福岡県慢性期医療協会は、療養型病院が集い、より一層の医療・看護・介護の質の充実を図るために検討・協議し、研修・教育・情報交換の場としています。

会報誌

■会長ごあいさつ

小暑の候、みなさまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。
先日、令和3年度の定時社員総会が無事に終了しましたが、時節柄、コロナ禍における「患者様受け入れ手法」や「感染予防」対策などの内容が数多く報告されました。私ども、福岡県慢性期医療協会としても完全収束に向けて引き続き努力したいと考えています。
本年度より会員同士の情報共有ならびに介護事業者の方々に向けた、「会報誌」を制作することになりました。是非ご一読いただきますようお願いいたします。



福岡県慢性期医療協会
会長 原 寛

活動報告 Activity report

講演会 2021年2月4日(木)・5日(金) / 第8回慢性期リハビリテーション学会

セミナー 2021年2月13日(土) / 福岡県慢性期医療協会 ケアスタッフ研修会

講習会 2021年5月20日(木) / 感染予防対策用ビデオ完成と配布開始



活動報告

2021年2月～5月の活動をご紹介

2021年2月4日(木)・5日(金) 第8回慢性期リハビリテーション学会

日本慢性期医療協会・慢性期リハビリテーション協会主催による「第8回慢性期リハビリテーション学会」がコロナ禍に配慮し、福岡国際会議場をライブ会場として、WEB上で開催されました。2日間にわたり250団体と50名の個人が参加し、1000名近くの参加者が集い、「リハビリテーションの真価を問う～他職種連携で再考する～」をテーマに、コロナ禍でのリハビリテーションの現状とアフターコロナを見据えたりハビリテーションの提供について、基調講演やシンポジウムなどを通して熱い意見交換が行なわれました。医師、看護師、セラピスト、介護士といったリハビリテーションに携わる職種の人々が綿密に連携し、患者の状態に合わせた最適なリハビリテーションを実践するため、

現場をより良く変えて行くという、積極的な提案も上がりました。他職種の人々の熱意は『他職種連携でポストコロナ患者を自宅に返そう』という第8回慢性期リハビリテーション学会・福岡宣言として発表されました。



2021年2月13日(土) 第20回ケアスタッフ研修会

医療・介護のケアの技術向上と研究発表、交流のための「ケアスタッフ研修会」が2月13日(土)に行なわれました。20回目となる今回は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、Zoomウェビナーを使ったオンライン講座として実施されました。研究発表は東福岡病院の「抱え上げない介護～利用者様の負担軽減と職員の腰痛予防～」、原土井病院からは「介護職のスキルアップに向けた学習と啓発～ユマニチュード®を通して～」という2つのテーマでの発表が行なわれました。また、日本ユマニチュード学会チーフインストラクター、安武氏による「ユマニチュード®～優しさを伝えるケア技術～」という特別講演での学びも提供されました。さらにセントラルキッチンで調理した給食で病院や施設の経営支援を行なっている株式会社ナリコマエンタープライズからの協賛企業講演が行なわれました。



2021年5月20日(木)より 感染予防対策用ビデオ完成と配布を開始

福岡県慢性期医療協会では、新型コロナウイルス感染症が福岡県下にあって拡大し続けていることや、医療崩壊への懸念、治療後の後方支援入院の必要性、高齢者施設での感染予防対策、専門医師の直接指導の困難などを鑑み、医療・介護の現場に向けた、「新型コロナウイルス感染症「感染予防のための動画」」を制作。新型コロナウイルス感染症の基礎知識の他、急性期病院で行われる治療や慢性期病院で行う後方支援、感染予防の具体例等を解説しています。ビデオは希望の病院・施設へのDVD配布の他、福岡県慢性期医療協会のYouTubeチャンネルでも公開されています。『https://www.youtube.com/watch?v=BM-1Kca39_Y』または、YouTubeで『福岡県慢性期医療協会』で検索下さい。



海外人材活用事例

福岡県慢性期医療協会受け入れの「インターンシップ生」第1期、7法人・31名の入国準備が進行中。

80名の候補から選ばれたインドネシアの看護大学生

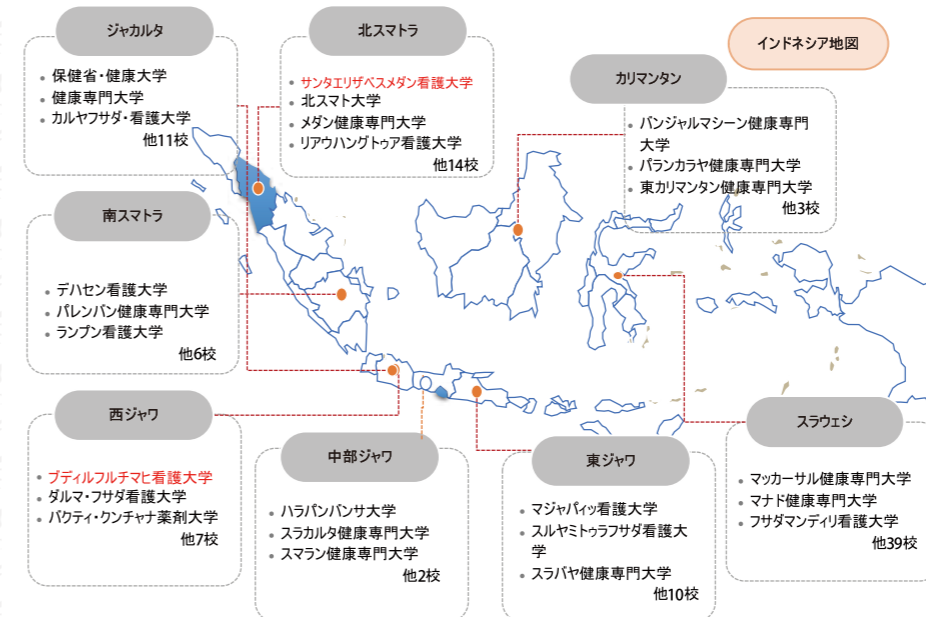
「外国人技能実習生」として医療・介護分野で雇用が認められた2017年以降、多くの機関で海外からの人材の活用が進んでいます。福岡県慢性期医療協会でも、医療・介護の現場で戦力になってほしいと、海外からの人材受け入れ準備を進めてきました。ぜひ日本の医療・介護の現場で経験を積みたいと希望し、第1期インターンシップ生として来日するのは、インドネシアの看護大学協会(正式名:財団法人プティルウルフ国際教育ネットワーク協会)に所属する128校のうち、プティルフルチマヒ看護大学、サンタエリザベスメダン看護大学の2校の80名の候補の中から選ばれた31名です。日本でのイン



面接会の様子

ターンシップ終了後には、技能実習生として再入国する事を熱望している頼もしい人材です。コロナ禍により2021年1月より断続的に外国人の新規入国が出来ない状況ですが、来日へ向け日々インドネシアで日本語学習に励んでいるとのこと。

プティルウルフ国際教育ネットワーク協会グループ校 Peta Bin For EDU



来日前の日本語の習得や在留資格認定取得をサポート

この度のインターンシップ生は、インドネシア教育省(日本の文科省)、プティルフルチマヒ看護大学所在地のチマヒ市議会議長、サンタエリザベスメダン看護大学所在地のメダン町村役場というインドネシア公的機関より推薦され、選ばれた優秀な人材です。彼らは看護大学生としてインドネシア国内の病院での実習に加え、1ヶ月の日本語合宿のほか、日々日本語学校とZoom授業で日本語を学んでいます。福岡県慢性期医療協会の人材事務局も、監理団体として在留資格認定証明書を取得する為、申請作業を行政書士と共に行ないながら、週に一度のZoom面談を実施し、個々の日本語習熟度合いをチェックしています。受け入れ予定の法人は、病院系が4法人、介護事業者が3法人の計7法人。受け入れ法人も学生とのZoom面談を定期的に行なっており、日本語の習熟度合いを確認し、入国後の生活サポート等も円滑に行えるように、事前のコミュニケーションを密にしています。



ZOOMでの面談を実施